

# 日本の水資源

## 水は限りある資源です

水の循環の中で私たちは水を利用しているわけですが、大切に利用しないと使える水がなくなってしまうこともあるのです。日本は、人口1人あたりの降水量が少ない国です。そのうえ、河川の流域面積も小さく急勾配であるため、降った雨を平均化して流すことができないのです。日本の水資源は、決して豊かとは言えません。すべての人が水の恩恵にあずかるために、ひとりひとりが、いま一度水の上手な使い方を考える必要があります。

■世界主要国の降水量の比較

平均降水量 (mm/年)	1人当たり年降水総量 ( $m^3$ /人・年)
オーストラリア	534 201,351
カナダ	537 164,588
スウェーデン	624 30,951
アメリカ合衆国	715 22,741
フィリピン	2,348 8,166
フランス	867 7,796
日本	1,690 4,997
イギリス	1,220 4,912
中国	627 4,530
世界平均	807 16,427

(参考文献) 「平成22年版 日本の水資源」国土交通省土地・水資源局水資源部

## 水需要のバランス

水需給バランスについて、長期的にみれば、需要量は減少する可能性はあるものの、供給側において、近年の無降雨期間の長期化、少雨化、少雪化、さらには降水量の変動幅の増大などによって、地域的には十分な水量が確保できず、水供給可能性が低下しており、今後、気候変動によりさらに低下する可能性があります。最近20カ年における渇水の状況を上水道の断水及び減圧給水の状況で見ると、四国地方を中心とする西日本や関東、東海地方で多発しており、渇水の発生の地域格差が存在しています。



(注) 1990年～2020年の間で、上水道の断水及び減圧給水が発生した地域を、不足、不足傾向として、上水道の断水及び減圧給水発生地域として示す。

出典) 「平成22年度版日本の水資源」国土交通省土地・水資源局水資源部

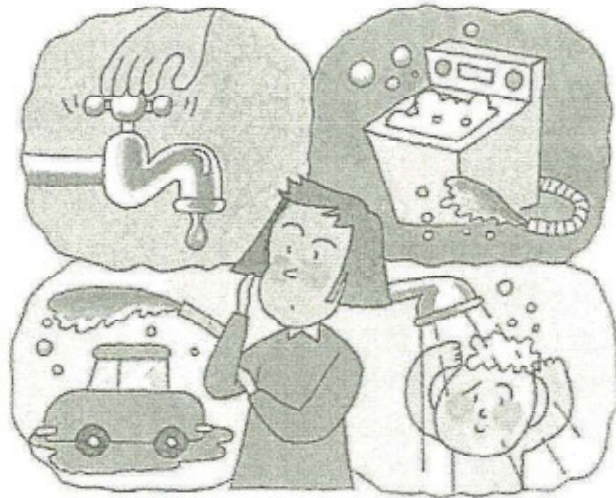
# 水道博士になろう!



生きていくために欠かせない水といえば「飲み水」ですが、  
私たちは、健康で文化的な生活を営むためには多くの水を必要としています

問6

わたし ひとり いちにち  
私たちは1人1日  
あたりどれだけの  
水を使っている?



答

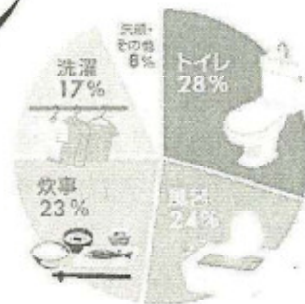
## 約240リットル

朝起きてから寝るまで、私たちはいろいろな場面で水を利用して  
います。のどをうるおすための「飲み水」はもちろん、た  
とえば歯磨きや洗顔、炊事にも水が欠かせません。

このように私たちは、さまざまなことに水道水を利用してい  
るわけですが、

その内訳は、トイレがもっとも多く全体の28パーセント。次いで  
風呂24パーセント、炊事23パーセント、洗濯17パーセントとな  
っており、これらで1日の使用量の9割以上を占めています。

お風呂の残り湯を洗濯や掃除などに利用することや歯を  
磨くときに水をだしっぱなしにしないなどの行動に努めれば、  
限りある水資源を有効に活用することができます。



東京都水道局 平成18年度一般家庭水使用目的別実態調査

愛知原企業庁

あいちの水道PR映像制作

1. 目的

近年、水道では、ペットボトルなどのミネラルウォーターを購入して飲用するなど、水道水の水質に対する心配などにより水道水離れがみられ、十分に安心・安全な水道水の認知がなされていない。より多くの方に水道に対する理解と関心を深め、日常生活に必要な水道水の魅力をアピールすることが求められており、受水団体からもそのような意見が出されている。

また、工業用水では、産業の血液として豊富・低廉な工業用水を給水し産業の発展に寄与しているが、最近では技術の進歩などにより事業所内での工業用水の再利用の普及や長引く景気の低迷から工業用水の使用量が減少している。

そうしたことから、水道及び工業用水に対する理解と関心を深め、安心して使用していただけるように、PR映像を制作して利用の促進を図る。

なお、主な視聴の対象として、水道の学習を行う小学4年生を中心に制作した。

2. あらすじ

愛知県内に暮らす小学生の「ありす」が、ある暑い夏の日、校庭で、水を求めて水のみ場に集まった友達の中で、ひとりだけ水を飲もうとしません。

その理由は、「水道水だから」

ふと気づくと、蛇口の上に小さなカッパ君の姿を見つけます。カッパ君は蛇口の中に消えてしまいました。

驚いて蛇口を覗き込む「ありす」は、なんとそのまま蛇口に吸い込まれてしまいました。

「ありす」の不思議な探検が始まります。

蛇口からつながっている浄水場、幹線水路、そして大きな川の取水場へとカッパ君に導かれるように探検が続くうちに水道水に対する理解と関心がどんどん深まっていきます。

気がついた「ありす」。そこは、あの夏の校庭です。どうやら暑さに負けて少しボーッとしていたようです。こんな日はしっかり水分を補給しなければなりません。

あの不思議な体験が夢なのか現実なのかは、わかりません。でも、「ありす」が水道水に対して興味を深めたことは確かです。

「ありす」は、蛇口からあふれる「水道水」をおいしそうに飲みます。

<ジャケット>



<盤面>



制作：(株)NHKプラネット中部支社、 制作枚数：500枚、 制作費：5,249,475円